

平成22年度 和歌山県文化功労賞

まつ い あきら
松 井 彬

住 所：和歌山県和歌山市
出 身 地：和歌山県和歌山市
生 年：昭和21年

◎業績及び経歴

昭和21年和歌山市に生まれる。6歳の頃より喜多流職分・和島富太郎氏に能を学び、昭和34年喜多流宗家喜多実氏の内弟子となり、以来現在まで能楽一筋の道を歩んでいる。

昭和42年に独立して和歌山市に喜松会を発足し、弟子の育成を図るとともに、昭和59年から始まった「けんぶん能」をはじめ、「市民能」、「日前宮薪能」、「和歌浦万葉薪能」などの県内における主要な能公演に第1回目から出演し、「能楽」の普及・振興に努めてきた。

また、県外においても喜多流の一員として、東京や大阪等の能楽堂で定期的に公演を行っている。

一方で、「能楽」の新たな可能性を求めて海外公演にも積極的で、昭和47年に和歌山市の姉妹都市であるリッチモンド(カナダ)、ベイカースフィールド(アメリカ)へ文化使節として訪問したのを皮切りに、平成元年にはメキシコで初の海外公演を実施、以後毎年のように海外を訪問し、その内容もワークショップや大学での講演など幅広いものとなっている。

また、異分野とのコラボレーションや新作能の演出にも力を入れており、中でもカナダで上演した新作英語能「かもめ」は移民としてカナダに渡った女性の悲哀と望郷の念を表現し、大きな反響を呼び、平成20年に日本の演劇に関連した海外の上演作品に贈られる「内村直也賞」を受賞した。

平成23年には、アルゼンチンにおいてタンゴとの共演を皮切りに、ヨーロッパ等での公演も予定されており、伝統を重んじながら、新たな挑戦

を続けるその精力的な活動はとどまることがない。能楽を通して、本県の文化振興のみならず、わが国の文化振興に寄与された功績は誠に多大である。

■現在

喜多流能楽師職分
能楽協会会員
日本能楽会会員
和歌山文化協会名誉会員

■主な表彰歴等

昭和58年 和歌山市文化奨励賞
平成10年 重要無形文化財総合指定(文化庁)
平成13年 和歌山市文化功労賞
平成20年 社団法人国際演劇協会内村直也賞
平成20年 和歌山市文化賞